

※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年2月25日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：2/14-2/21)



	週間	月間	YTD
VN指数	1.62%	2.51%	2.37%
VN30指数	0.99%	1.21%	0.67%
VN中型株指数	2.21%	3.17%	3.55%
VN小型株指数	2.13%	6.02%	3.84%

先週のVN指数は1276.08ポイントから1296.75ポイントへと1.62%の上昇となりました。臨時国会で今年の経済成長率目標が8%以上へと上方修正されたこと、一部企業では昨年の好決算に加え、外国直接投資の拡大などを背景に、今後の業績成長への期待が高まったことなどを受けて、上昇基調となりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+0.99%、中型株指数が+2.21%と、それぞれ上昇に転じました。また、小型株指数が+2.13%と続伸しました。中型株指数、小型株指数がVN指数を上回る上昇を示しております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	-2.20%	-4.63%	-5.46%

通貨ベトナムドンにつきましては、米連邦準備理事会の高官が金利据え置きを支持したことなどを受けて、米ドルに対して弱含みとなりました。一方、ドル円相場は、昨年10-12月期の日本の実質国内総生産成長率が前期比年率2.8%増と市場予想を大きく上回ったことなどで、日銀の追加利上げ観測が広がる中、ドル安・円高が進みました。ベトナムドンは円に対して-2.20%と下落に転じました。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	1.5%	素材	1.8%
不動産	2.4%	公益事業	0.6%
生活必需品	1.0%	エネルギー	0.7%
一般消費財	2.3%	情報技術	-1.9%
資本財	1.7%	ヘルスケア	0.2%

セクター別に見ますと、利益確定の売り圧力を受けた情報技術を除き、9セクターが上昇しました。特に左上から2番目の不動産が+2.4%、その2つ下の一般消費財が+2.3%とそれぞれ反発しております。

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ベカメックス（不動産）[BCM]	+6.8%
ベトナムゴム工業グループ（素材）[GVR]	+6.8%
バオ・ベト・ホールディングス（金融）[BVH]	+6.6%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
LPバンク（金融）[LPB]	▲2.9%
FPT（情報技術）[FPT]	▲2.0%
マサングループ（生活必需品）[MSN]	▲0.7%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、大規模なプロジェクトを開発する意向を示した工業団地開発大手のベカメックスが+6.8%、ベトナムゴム工業グループが+6.8%、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+6.6%と、それぞれ上昇を続けました。一方、下落銘柄は中堅銀行のLPバンクが-2.9%と反落しました。また、情報技術大手のFPTが-2.0%と続落し、複合企業のマサングループが-0.7%と下落に転じました。

VN指数直近1年の推移



VN指数は5週連続の上昇となりました。トランプ米政権の関税政策など、先行きは依然として不透明であり注意が必要ですが、ベトナム政府が今年の経済成長率目標を8%以上へと上方修正したように、公共投資の推進や金融緩和スタンスの継続などにより、景気・企業業績の拡大が見込まれます。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上